

<報道発表資料>

カテゴリー:お知らせ

令和 4年 8月26日

中川水循環センターの汚泥消化・バイオガス発電システムが 国土交通大臣賞グランプリを受賞

(同時発表：埼玉建設新聞(日本工業経済新聞社)、建設通信新聞(日刊建設通信新聞社)、日本下水道新聞(日本水道新聞社)、水道産業新聞(水道産業新聞社)、週刊下水道情報(公共投資ジャーナル社)、環境新聞(環境新聞社))

埼玉県下水道局の「中川水循環センターの汚泥消化・バイオガス発電システム導入」の取組が、令和4年度(第15回)国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」のグランプリを受賞することとなりました。

本県下水道局の受賞は、令和元年度の部門賞(防災・減災部門)に次ぐ2回目、グランプリの受賞は初となります。

1 受賞内容

取組名：中川水循環センターの汚泥消化・バイオガス発電システム導入

受賞部門：グランプリ

取組内容：下水処理に伴う温室効果ガスの排出削減をするため、民間事業者と共同で中川水循環センター(三郷市)に下水汚泥を減量・エネルギー化する施設「汚泥消化・バイオガス発電システム」を整備しました。

応募事例の概要

流域下水道の課題

8流域・9つの水循環センターで
県行政人口の75%にあたる558万人の下水を処理
→温室効果ガスの排出が約27万トン（CO₂換算・年間）

この削減が
大きな課題

施設の整備と効果

温室効果ガスの一層の削減に向け、民間事業者と共同で中川水循環センター内（三郷市）に下水汚泥を減量・エネルギー化する施設「汚泥消化・バイオガス発電システム」を整備



2 表彰式

日時：令和4年9月2日（金）午後4時から

場所：中央合同庁舎3号館4階 国土交通大臣応接室

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、受賞者はオンラインでの参加となります。本県では下水道事業管理者室（衛生会館2階）で表彰式に参加します。表彰式は取材いただけます。

【参考】国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞」

健全な水循環、資源・エネルギーの循環を生み出す21世紀の下水道のコンセプト「循環のみち下水道」に基づく優れた取組に対し、平成20年度に創設された国土交通大臣表彰です。

下水道の使命を果たし、社会に貢献した好事例を表彰し広く発信することで、受賞者の功績を称えるとともに、他の多くの団体等でも同様の取組が行われ、全国的に「循環のみち下水道」の実現が図られることを目的としています。